

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
<p>○子ども一人一人を大切に、まちや学校の特色を生かした、活力と魅力にあふれる学校づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考え、相手のよさを積極的に伝え合い、豊かな人間関係を築くことができる子どもを育てます。 ・学び合う楽しさを実感できる授業づくりを推進し、進んで表現し主体的に学び続けることができる子どもを育てます。 ・基本的な生活習慣を身に付け、心身ともに健康な子どもを育てます。 ・保護者・地域・学校の連携をより密にして、子どもが地域や人との「つながり」を感じとり、まちを大切にする心を育みます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
豊かな心	①道徳の授業の充実を図るようになる。 ②身の回りの人との関わりを大切にしながら豊かな学び作りをする。	①年に一回公開授業を実施する。 重点研として校内全体で取り組む。 ②路耕（茶道・剣道） 地耕（栽培活動） たてわり活動の充実（集会や給食など） 地域と関わる活動（祭、もちつき大会など）
担当	道徳部	

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

本校児童は、素直で何事にも一生懸命取り組むことができる。日頃から、学校・地域で子ども達の育ちを見守り、どの子も安心して落ち着いて学習に取り組んでいる。また、運動会、浅間台フェスティバル、栽培活動などでは、一丸となって取り組み一体感や達成感を味わっている。しかしながら、今の自分の状況に満足し、より高い目標をもちよりよい自分を目指そうとする向上心やつらくても最後までやりとげようとする気落ちが弱い面が見られる。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳の時間」の充実

- ・全学級の道徳授業公開を年一回以上実施する。
公開授業や、公開授業週間を活用し、各クラス1回以上は道徳の授業を公開するようにします。
- ・重点研として道徳に取り組みます。
前期・・・学校に講師の先生を招き、ご講演をしていただきます。
授業の進め方を学ぶために、一人一回、学力向上校の授業参観に参加します。
後期・・・各ブロックごとに1クラス授業を行います。ブロックで授業の進め方や目的に合わせた資料を選定するなど、ブロックとして授業づくりに取り組みます。

指針2 体験学習の充実

- ・生活科や横浜の時間の指導計画に栽培活動を位置づけ、1年を通じて野菜や植物を育てる活動を実施します。また、地域の方々に教えていただきながら栽培活動に取り組み、自分と自然・人とのかかわりを実感としてとらえられるようにします。
- ・浅間神社の祭礼（お囃子）、もちつき大会など地域やPTA行事に進んで参加し、地域に伝わる伝統行事やそれらを継承してきた地域の人々の思いに気づき、まちのよさに気づきまちを大切にする気持ちを育みます。
- ・体験活動を充実させるために、地域にある学習材を見直し、各教科領域のカリキュラムに反映させます。かかわる対象が子どもにとって興味や関心をもつものであるか、必要感のあるものであるか、これまでの実践での子どもの姿などの視点で見直し、価値ある体験になるようにします。